

スリナム月間情勢報告 (2024年3月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

3月のスリナム内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- 国際刑事警察機構（インターポール）は、禁固20年の実刑判決を受けたボータッセ前大統領に対し国際逮捕手配書を発行。
- 2020年にガス田が発見された52鉱区の試掘井 Sloanea-1 で更なる探鉱を進めるべく、スリナム石油公社（Staatsolie）は、マレーシアの PETRONAS 社及び米 ExxonMobil 社と合意書を締結。
- Staatsolie 社は、58鉱区開発に20%出資すると発表。これにより、仏 TotalEnergies 社及び米 A P A 社がそれぞれ40%、Staatsolie 社が20%の株式を保有することになる。
- IMF 理事会は、スリナムに対する拡大信用供与措置（EFF）による支援に関する第5回レビューの結果を承認。これにより、同国はIMFによる4,670万スリナムドル（約6,200万米ドル）の融資金の払い込み（ディスバース）を受けることが可能となる。

2 内政

- （13日報道）国際刑事警察機構（インターポール）は、1982年に自らの政権に批判的なジャーナリストや弁護士ら15名の処刑を指示した罪で禁固20年の実刑判決を受けたボータッセ前大統領に対し、国際逮捕手配書を発行。
- （16日報道）政府が虚偽の書類を用いてスリナム企業「パンアメリカン不動産」に推定750万米ドルを支払ったとの報道を受け、司法長官事務所はサントキ大統領、ラゴバーシング財務相及びヌーモハメド公共事業相に対し、汚職への関与に関する司法による捜査を要請。

2 経済

- （4日報道）2020年にガス田が発見された52鉱区の試掘井 Sloanea-1 で更なる探鉱を進めるべく、スリナム石油公社（Staatsolie）は、マレーシアの PETRONAS 社及び米 ExxonMobil 社と合意書を締結。
- （5日報道）Staatsolie 社は、58鉱区開発に20%出資すると発表。これにより、仏 TotalEnergies 社及び米 A P A 社がそれぞれ40%、Staatsolie 社

が20%の株式を保有することになる。

●(11日、12日報道) ブラジル政府はスリナム政府に対し、過去最大である86万米ドル相当のワクチンやその他医薬品を寄贈。

●(20日報道) IMF理事会は、スリナムに対する拡大信用供与措置(EFF)による支援に関する第5回レビューの結果を承認。これにより、同国はIMFによる4,670万スリナムドル(約6,200万米ドル)の融資金の払い込み(デイスバース)を受けることが可能となり、その内1,910万スリナムドル(約2,500万米ドル)は同国の予算支援に充てられる予定。

●(21日、30日報道) 政府は、4月1日から最低賃金を時給49.12スリナムドル(1.52米ドル)に引き上げると発表。

●(27日報道) Staatsolie社は、米ExxonMobil社及び仏TotalEnergies社と、スリナムとガイアナの海上国境にまたがる天然ガス田の共同開発に関する協議を開始したと発表。

3 外交

●(1日報道) サントキ大統領は、セントビンセント開催の第8回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)首脳会合に出席。

●(3日報道) 第49回カリコム首脳会合において、各国首脳はラムディン外相の米州機構(OAS)事務総長ポストへの立候補に対する支持を表明。

●(19日、20日報道) ラムディン外相、ラゴバーシング財務相及びヌーモハメド公共事業相は、コレンティン川に架かる橋梁建設における資金調達方法に関して協議を行うためスリナムを訪問したガイアナ政府代表団と協議を実施。両国は、両国間を結ぶ橋梁のタイムリーな建設へのコミットメントを共同声明にて改めて表明。

●(22日報道) サントキ大統領はガイアナを訪問し、アリ同国大統領とコレンティン川の橋梁建設に関して協議を実施。同橋梁は2026年に完成予定。